

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

真庭市の伝統行事「霜月祭」が新たな方式で行われました。記事を読み質問に答えましょう。

真庭市余野地区の伝統行事「霜月祭」が4日、大津神社（同市余野下）であり、参拝者が餅投げを楽しんだ。過疎・高齢化が進む中でも祭りを継承しようと、住

民でつくる実行委が地域の若者らに協力を呼びかけて開催。飲食を販売するマルシェも初めて開かれ、にぎわった。
(中浜汐里)

真庭「霜月祭」に新風

過疎・高齢化で実行委方式へ

霜月祭の餅投げを楽しむ参拝者



霜月祭は毎年12月、神社へ餅を奉納し、餅投げで参拝者に振る舞つのが習わし。約700年前に起源があり九名と呼ばれる当番が中心になって引き継いできたが、継承が困難になって昨春に実行委を発足した。もや若者と一緒に行う新たな番制をやめ、地域の子どなスタイルを模索中で、今



児童と栽培の米使用 伝統の餅投げ継承



境内で開かれたマルシェで温かいコーヒーを求める家族連れら

年は初めてもち米を余野小(同)児童と栽培し、3日に計90キをついて丸餅を作った。餅投げには地元住民ら約70人が参加。九名の6人が神事を執り行った後、本殿から二手に分かれて勢よく餅を投げた。住民らは「こっこちほ」として、今後も「取れた!」などと歓声を上げ、餅に手を伸ばしていた。境内に5店が並んだマ

ルシェも、温かいうどんやコーヒーを買い求める家族連れらの人気を集めた。家族3人で訪れた団体職員赤木美栄さん(42)「同所」は「慣れ親しんだ祭りを残そうと行動してくれる人がいるのがありがたい。地域に新しい風が吹けばうれしい」と話した。

5日付山陽新聞、全県版

Q1 霜月祭は九名と呼ばれる当番が引き継いできた祭りです。継承が困難になった理由を、見出しの言葉で答えましょう。

Q3 実行委方式に変わり、今年初めて行ったことは何でしょうか。第2段落を読み答えましょう。

Q2 祭りを引き継いだ実行委は、どのようなスタイルを模索していますか。第2段落から読み取りましょう。

過去の問題は
こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。